



ホームページ
QRコード



令和2年度
時
京都市立伏見住吉小学校
611-5243
校長 村山 得太郎

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、2月には学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。以下に質問紙回答結果の報告をさせていただきます。結果と共にこれまでの教育活動を振り返り今後の改善に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

伏見住吉小学校 学校教育目標

「自ら学び、チャレンジし、共に伸びていく子」
～主体性・社会性を身につけ、未来を創造する子どもの育成～

めざす子ども像

すみよしの子 明るく楽しく元気に学校生活を送れる子ども

㊟ 素敵な笑顔で ㊦ みんななかよく ㊧ よく考え ㊨ しっかり学ぶ



児童

質問項目	実現度	
学校の学習がよくわかること	8.3	↓
話をしっかりときくこと	8.1	↑
相手にわかるように話すこと	7.6	↓
自分の思いや考えを書くこと	8.4	↑
毎日、家庭学習をすること	8.4	↑
毎日、家で読書をする	5.9	↑
楽しく学校に通うこと	8.6	
友だちとなかよくし、力を合わせる	8.7	
友だちやまわりの人々を大切に	9	↑
進んであいさつをすること	7.7	
場に応じた言葉づかいをすること	8.3	
学校や学級のきまりを守る	8.1	↓
「早寝・早起き・朝ごはん」・排	7.9	↑
便・歯磨きの生活リズムを付		
運動に親しみ、健康な体をつ	8.3	↑
食の楽しさを味わい、進んで	8.7	↑
食べる		
危険から身を守り、安全に生	9	
活		
こまったことがあったとき、	7.7	↓
家の人や先生にそうだんす		
学校をきれいにするために、	8.9	
そうじ		
学校・PTA・地域の行事に参	6.4	
加		

裏面に分析・考察を
掲載しています。



保護者

質問項目	実現度	
基礎的な学習内容を理解する	7.6	↑
話をしっかりと聞く	7.1	↑
相手に分かるように話す	6.7	↑
自分の思いや考えを書く	6.6	↑
家庭学習の習慣を身に付け	6.9	
読書の習慣を身に付ける	5.7	
楽しく学校に通う	8.4	
なかよく協力し合って学校生	8.1	
活を送る		
相手の気持ちを尊重できる	8	↑
優しい心をもつ		
進んであいさつをすること	6.7	↑
場に応じた言葉づかいを	6.7	↑
すること		
ルールを守り、マナーを身に	7.6	↑
付ける		
「早寝・早起き・朝ごはん」・	7.4	↑
排便・歯磨きの習慣を付		
ける		
運動に親しみ、運動能力を向	7.6	↑
上させる		
食の楽しさを味わい、進んで	7.9	↑
食べる		
危険から身を守り、安全に生	7.7	↑
活		
学級・学校便り・ホームページ	7	
で学校の様子を知ること		
教職員に気軽に相談できる	6.9	↓
こと		
教室・廊下等の環境が整備	7.3	
されている		
子どもに学校の様子を聞く	7.4	
こと		
学校・PTA・地域の行事に参	5.7	↓
加		
学校・保護者・地域が連携	6.7	↓
して子どもたちを育てる		

地域

質問項目	実現度	
学校が児童の学力向上に向け	8	↓
取り組む		
子どもたちが、進んであい	5.9	↓
さつを		
子どもたちが、場に応じた	6.3	↑
言葉づかいを		
子どもたちがルールを守り、	7.6	↑
マナーを身に付ける		
子どもたちが運動に親しみ、	6.7	↓
運動能力を向上させる		
子どもたちが危険から身を	7.1	↑
守り、安全に生活する		
学校便り・ホームページ等	9.1	↑
で情報を発信する		
学校の教育環境が整備され	7.6	↑
ている		
教職員がPTA・地域の行事	8.3	↑
に参加する		
学校・保護者・地域が連携	7.6	↓
して子どもたちを育てる		

10ポイント（10p）満点で表示。
R02第1回学校評価と比べ
上昇に ↑ 下降に ↓ を記しています。



教職員

質問項目	実現度	
基礎的な学習内容を理解する	7.1	↓
力を付ける		
話をしっかりと聞く力を付	6.1	↓
ける		
相手に分かるように話す力	6.3	↑
を付ける		
自分の思いや考えを書く力	6.3	↑
を付ける		
家庭学習の習慣を身に付け	7.3	↑
る		
読書の習慣を身に付ける	7	
こと		
楽しく学校に通っている	8	↓
こと		
なかよく協力し合って学校生	8	
活を送っている		
相手の気持ちを尊重できる	7.6	↑
優しい心をもっている		
進んであいさつをしている	7	↑
こと		
場に応じた言葉づかいをし	6.1	
ている		
ルールを守り、マナーを身に	7	↑
付けている		
「早寝・早起き・朝ごはん」・	7.1	↑
排便・歯磨きの習慣を付		
ける		
運動に親ませ、運動能力を向	7.1	↑
上させる		
食の楽しさを味わい、進んで	8.3	↑
食べている		
危険から身を守り、安全に生	7.3	
活する力を付ける		
学級・学校便り・ホームページ	7.4	↑
で学校の様子を知らせる		
子どもに関わるトラブルを家	8	↑
庭と密に連絡をとり、解決		
する		
教室・廊下等の環境を整備	7.1	↑
すること		
家庭・地域と積極的に連携	6.9	↑
を図り、取組をすすめる		
学校・PTA・地域の行事に参	5.7	↓
加		
学校・保護者・地域が連携	6.9	↓
して子どもたちを育てる		

結果分析について

児童の結果

第Ⅰ回と比べ、実現度に大きな差はありませんでした。その中でも「毎日、家庭学習をすること」が上昇しました。休校期間を含め、児童の家庭学習に対する意欲と取り組みが年間を通して定着したことが分かります。一方、「学校や学級のきまりを守ること」が下降しました。コロナ禍において学校生活様式が一変し、様々な制約がある中で、きまりを守ることへの徹底が難しかったように思われます。

保護者の結果

第Ⅰ回と比べ、実現度が上昇した項目がたくさんありました。特に「相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつこと」が大きく上昇しました。本校の「なかよし学習」などの人権教育や道徳教育をはじめとする様々な取組の成果であります。「学校・PTA・地域の行事に参加すること」については大きく下降しました。第Ⅰ回と同様、今年度は諸行事が中止となることが多く、このような結果になったと思われるます。

地域の結果

第Ⅰ回より全体的に実現度の上昇が見られます。「学校便り・ホームページ等で情報を発信すること」については高い実現度を示しています。今年度は例年通りの行事が中止になったり参観を自粛していただいたりすることが多くなったため、学校便りや学級便り、ホームページ等で行事の様子を発信するように意識した成果であると感じています。一方、「子どもたちが運動に親しみ、運動能力を向上させること」の実現度が大きく下降しました。これについても、コロナ禍における運動制限が大きく影響していると思われるます。

教職員の結果

多くの項目で実現度が上昇しました。特に「進んであいさつをしていること」についてはⅠpも実現度の上昇が見られました。年間2回の「あいさつ週間」の取組が定着してきたことが大きな要因だと考えられます。期間中に限らず、様々な場面で気持ちよい挨拶をする児童が増えてきていると実感しています。また「食の楽しさを味わい、進んで食べていること」についてもⅠp以上の上昇が見られました。これは、コロナ禍における給食指導が大きく変化したことが関係しています。今年度は黙食に取り組み、全員が前を向いて静かに食べるようにしました。その結果、食べることに集中し、よく味わって食べています。また、それによって食べる量も増えたように感じています。また、栄養教諭による食に関する指導と毎日の音声付き献立紹介についてもその成果が表れているといえるでしょう。

記述欄より

「ご家庭で効果的であった取組」について、いくつかご意見を紹介します。

- 楽しかったことを絵日記にすることで絵や文の練習にもなり、一緒に読むことで親子のコミュニケーションをとるようにしている。
⇒ 一石二鳥、工夫された取組ですね。他にも、いろいろな方法で親子一緒に過ごす時間を設けるようにしているとの意見が多くありました。
- 宿題をする時間を子どもが決めることで自主的に取り組むようになった。
⇒ 自己決定の場を与えることはとても重要です。保護者や教師が選択の幅を示すことで児童も安心して取り組むことができます。
- コロナ禍で寂しい1年でした。
⇒ 今年度を振り返ると、例年通りにいかないことが多く、できることは工夫して行うようにしてきました。今後も、児童や保護者の皆様の思いを大切に学校教育活動の推進に努めてまいります。



全体の傾向・今後の課題について



今年度は、新学習指導要領の全面実施に伴い、教育内容にも大きな変化が見られました。また、コロナ禍による教育活動の自粛や制限によっても学校教育に大きな変化が起こりました。今後は、社会の状況も見据えながら、目の前の児童の実態を捉え、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を通して学びの質を高めること、日々の授業と家庭学習との連動を通して自学自習の習慣化を図ること、自他を大切に「公共の精神」に基づく態度を育むことを目指し、それらを保護者、地域にも発信し、協力を求めていると考えています。

確かな学力

今年度も算数科を切り口とした授業改善に取り組みました。3年生以上のプレジョイントプログラム・ジョイントプログラムの結果は、算数科においてはいずれの学年も全市平均を上回る結果となり、基礎的な学力の定着に成果が見られました。今後は、算数科のみならず、様々な教科においても児童の意欲を引き出し、学習の質を高めていきたいと考えています。また、家庭学習の定着・充実を図るために、ICT 機器の活用も考えん柄、各教科の学習との関連性をもたせるとともに、各学年の系統性を重視し、家庭との連携を図り、計画的で確実な実施を目指していきます。

豊かな心

コロナ禍においても、楽しく学校生活を送ることに関する項目の実現度が高く維持されていること、うれしく思います。また、友だちを大切にする優しい心をもつことやあいさつ、ルールやマナーに関する項目についての実現度が上昇していることは1年間の成果であると言えるでしょう。来年度は、地域をはじめ、様々な人々と交流する体験活動等を通して、持続可能な社会の実現に向けた様々な課題の解決を目指すなど、社会に主体的に参画する意識と行動力を育てていきたいと考えています。さらに、互いを認め合い励まし合う集団作りに向け、児童会活動の活性化を目指し、児童の主体的・自発的な活動を尊重しつつ、指導を徹底していきたいと考えています。

健やかな体

児童や保護者の運動に親しむことに関する項目は全体的に高い評価です。今年度は、内容を見直しくふうすることで、全校児童が参加する運動会を実施することができました。本番までに何度も練習に取り組み、創意工夫を重ねることはとてもよい経験になったと感じています。保健体育科の学習において、安全な運動機会を確保するとともに、健康の保持増進や望ましい生活習慣の実践、飲酒・喫煙・薬物乱用等の有害性について、正しい知識を身に付け、自律的な行動ができるように指導を徹底していきます。



スペースの関係上、すべてのご意見を紹介できず申し訳ありません。いただいた貴重なご意見は今後の学校教育活動に生かしていくようにします。ご協力ありがとうございました。